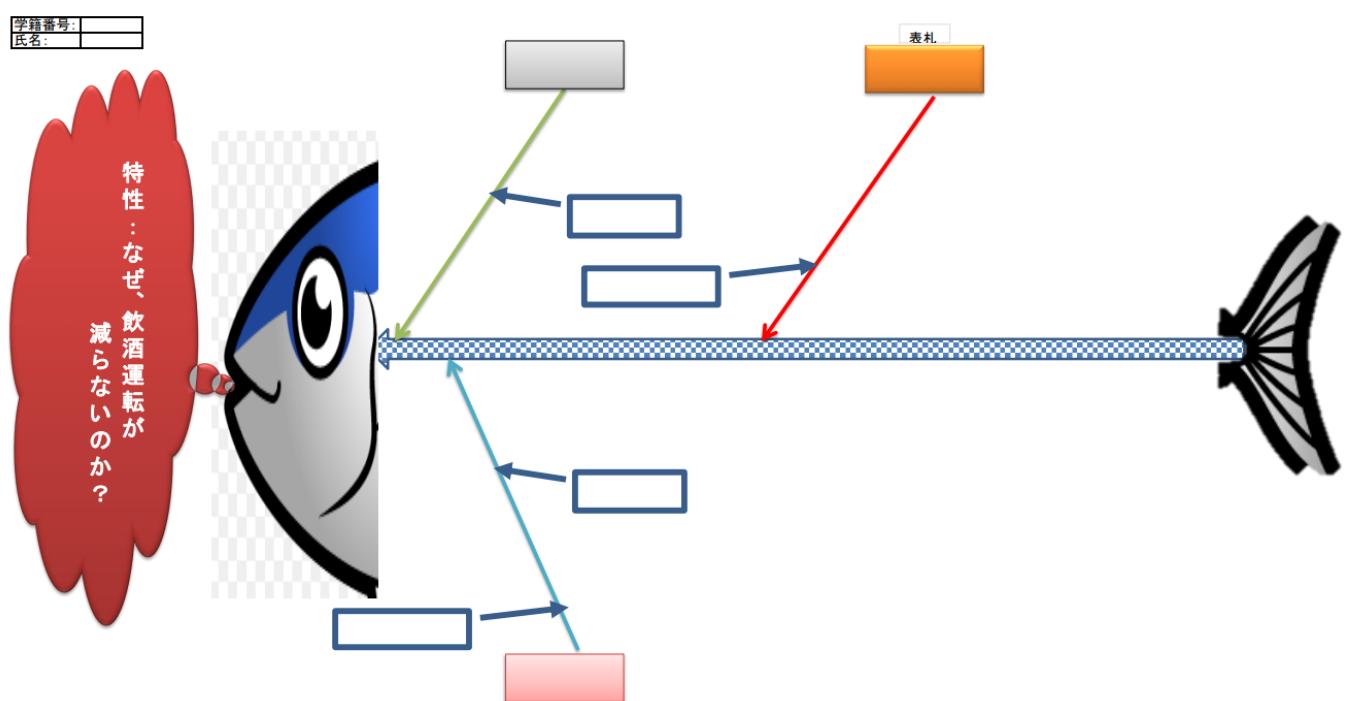
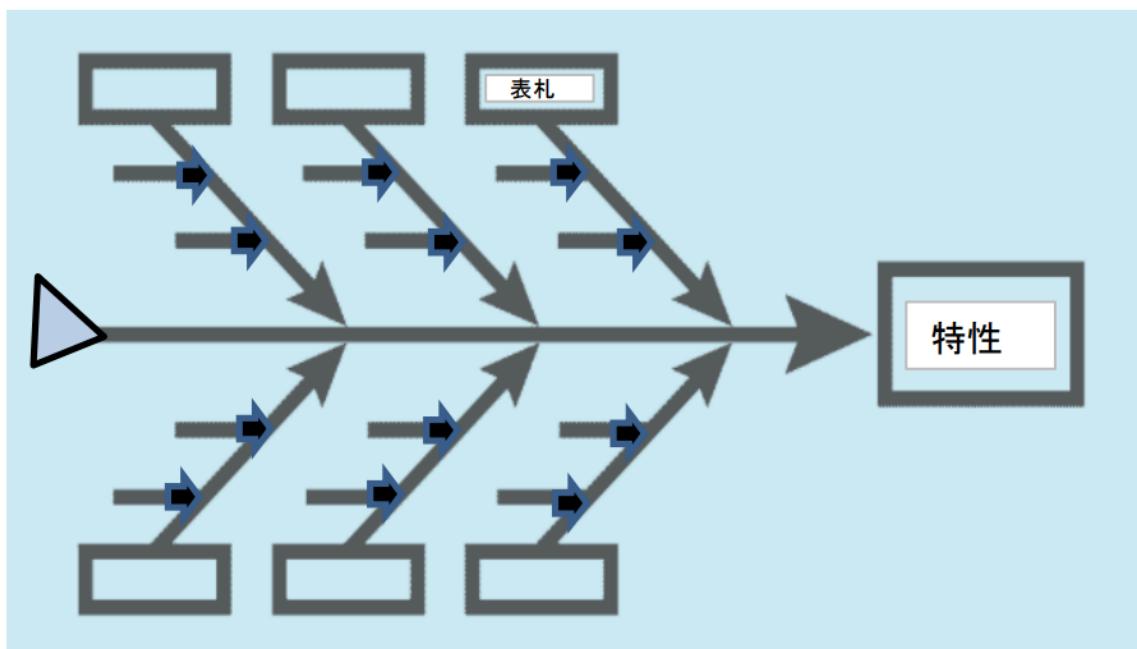


フィッシュボーン作成のメリット

- ① 課題を洗い出し、先入観を捨てて解決できる
- ② 問題解決の最適な方法を明確にできる
- ③ 原因、解決方を視覚化できるため、組織やチームで共有しやすい



教授資料8：マトリックス図



マトリックス図



発表レジメ・スライドの構成

0. 表紙

1. 問題設定の経緯と背景

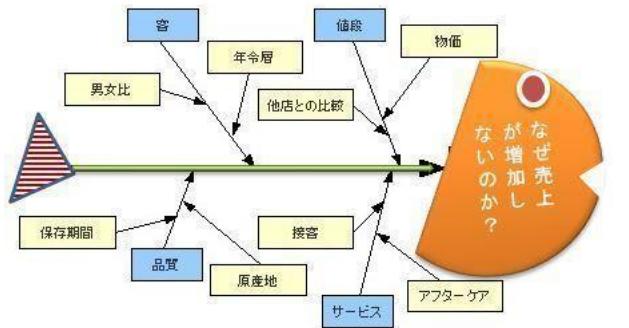
社会問題の中で、皆さんがなにを感じ、いくつかある問題の中からなぜそのテーマを選んだのか、その経緯を解り易く文書で表現します。

書き出しは、私たちが「なぜ・・・・のか？」を選んだ理由は、・・・・の原因が何であるか疑問に思ったからである。この解決策を導きたくこの問題を選択した。

2. 問題が生じる原因の分析+フィッシュボーン図

上記の理由で設定したテーマについて、その問題が生じる原因をどのように分析し、原因としてどのような内容が挙げられたのかフィッシュボーンを用いて紹介するとともに、骨同士の関係やその図全体を観て、この特性の原因をどこにあると考え分析したのか、その経緯を解り易く表現する。

書き出しは、B Sで、「・・・・」がいったいどのような原因で起こっているのかに視点を置いてみると、その根拠が見えてきた。以上の要因を整理しているうちに、「・・・・」の原因が大きく・つの表札に集約されていることが分かった。これら・つの要素（・・・・・・・）が複雑に関連し、それぞれの構成要素をもとに「・・・・の問題」が発生する原因を分析した。



3. 問題解決のための具体的方法の分析+マトリックス図

フィッシュボーンを通して出された原因に対し、再度B Sを用いて問題解決をするためには具体的に何をしたらよいか議論します。

その結果出された具体的な解決策をマトリックスにまとめ、それぞれのメリット、デメリットを考察します。

マトリックス図

問題を抱えたときに 何をすればよいか	対応策		
	対応策	効果	実現度
ストレインなどを持つ	ストレインを減らす方法	ストレインがない	△ △ ○
接客	接客を減らす	接客を減らす	○ △ △
技術・人間性の不一致	技術を理解の上に進む	技術など理解する	△ △ △
一時的な問題	お問い合わせに答える	問い合わせに答える	○ ○ ○
調査する	問い合わせに答える	問い合わせに答える	△ △ ○
他の会社の問題	他の会社の問題を抱える	他の会社の問題を抱える	○ △ ○

4. 問題解決策の選定とまとめ

マトリックスによって導かれたそれぞれの解決策を選択し、実行に移すとよいか、決定した理由とともに、その方法を使うことによって問題点がどう変化することを期待しているかも含めて述べる。

また、取り上げた問題に対して、この議論によって明らかになったこと、気づいたことを紹介する。

5. 終わり